

市民音楽劇プロジェクト

袋井市月見の里学遊館 20 周年記念

point 1 月見の里学遊館の開館 20 周年を記念して R3 年より始動した、
市民音楽劇「月見の里物語」の上演 に向けて準備するプロジェクト。

point 2 月見の里学遊館で活動している様々な分野のグループが共演して、1つの舞台を作り上げます。
→ **活動ジャンルや世代を超えた交流を生み、相互理解を促す**

point 3 出演者練習（ダンス・演技・合唱など）のほか、音響やアート、ものづくりなど様々な
分野のワークショップを合わせて開催。 → **こどもたちの可能性を広げる**



この音楽劇のために書き下ろした物語や楽曲を、紙の絵本やオンラインで公開しています。

市民音楽劇の題材となる物語「月のうさぎ〜月見の里物語〜」は、仏教説話をベースに書き下ろしたオリジナルの物語です。紙の絵本を月見の里学遊館の窓口で無料配布（先着順）しているほか、YouTube でオンライン絵本を無料公開しています。オンライン絵本では、ミュージカル俳優の綿引さやかさんによるナレーションや歌とともに物語をお楽しみいただけます。

月のうさぎ〜月見の里物語
You Tube チャンネル



単に「上手になること」が目標ではなく「他人の心に届けられること」を学びます。

ダンス・演技・合唱などの出演者練習のほか、効果音やアート・ものづくりなど、様々な分野のワークショップを開催します。様々な世代の人たちが集う中で活動することで、相互理解を深め、社会性なども身につけ、表現力を養います。



学校の部活や文化活動に代わる子どもたちへの文化芸術体験の提供のしかたとは？

現在、袋井市の小学校では先生の働き方改革により、文化活動やスポーツ活動（音楽発表会や、美術展、スポーツ大会など）が中止になる傾向にあり、勉強以外で子どもたちの力を発揮、発表する場が少なくなっています。子どもたちの成長の上で、個人の多様性を認め、一緒に目標に向かい活動する経験は自身の心の成長に必要であり、その機会を継続的に担う実験的な施策の一つとして、このプロジェクトを企画しました。この活動を続ける中で、今後の学校部活動の代替活動のよりよい仕組みづくりを検討していきます。

地域の文化芸術を支え育ててきた講師や、現役で活躍するアーティストが指導に携わります。



合唱指導
雪嶋 恵美子

国立音楽大学声楽科卒業。静岡県合唱連盟理事。静岡県ふじのくに芸術祭実行委員。「雪嶋ミュージックアカデミー」代表。月見の里学遊館のクリスマスコンサートでは、合唱指導する「合唱団ふくろう」と「月見の里こうさぎ合唱団」がオーケストラの演奏とともに美しい歌声を届けている。



演技指導
横山 央
(俳優)

桐朋学園芸術短期大学演劇専攻卒業。2019年3月まで、SPAC-静岡県舞台芸術センターにて俳優活動を行う。また、磐田子どもミュージカルにて演技指導にも携わる。現在は、団体職員として働きつつ、地域に密着した演劇活動を行なっている。



演技指導
村松 知代子
(ミュージカル講師)

ヤマハ音楽教室システム講師・兵藤楽器店 Jr. ミュージカル講師。月見の里学遊館設立からサポーター・市民スタッフ。2011年3月公演、月見の里ゴスペルオペラ「トゥリーモニャ」では振付を担当。



ダンス指導
Risa
(ダンサー)

TRF、WISE(TERiyAKI BOYS)、ZEEBRA Feat. Jessy、JAMOSA、MIHIRO、DOBERMAN INC、DJ KAORI、AI、FOH、LL.BROTHERS、HI-D、三浦大地、LEO、SHUGER SHACK、AKBユニット〜高橋みなみ、山本彩、松井玲奈など、数々のアーティストへの、バックダンス、PV出演、振付もこなす。



表現力のワークショップ
綿引 さやか
(ミュージカル俳優)

『レ・ミゼラブル』エポニーヌ役、『リトル・マーメイド』（劇団四季）、『ジャージー・ボーイズ』他多数のミュージカルに出演。また海外での活動や、様々なディズニーコンサートなどにも出演している。



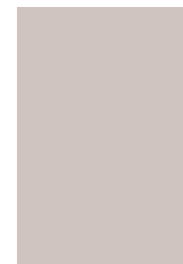
ダンボール造形ワークショップ
玉田 多紀
(造形作家)

古紙ダンボールのみで様々な生き物をモチーフに、造形美や性質を独自の視点で捉えた立体作品を制作。国内外の展覧会、ウィンドウディスプレイ、TVメディアやワークショップでも精力的に活動。ダンボールの強度と柔軟性を生かした独自の技法を美術教育の現場でも広めている。



効果音ワークショップ
山崎 徹
(歌舞伎付け打ち師)

1992年より国内外での花形歌舞伎〜大歌舞伎公演を中心に従事。その他多くの公演に技術指導・録音で参加。日々、歌舞伎に寄り添いながらその経験を活かし多彩な分野のコラボレーション作品で打ち物・音付けのチャレンジを続けている。「付けの會」では、伝統芸能の魅力を伝える會として、全国各地での企画公演、地歌舞伎との技術交流・学校公演・子ども向けワークショップなどを開催中。



衣装・舞台美術
宮沢のり子
(木工アーティスト)

北海道生まれ。2011年より、子ども向けの小さな箸を製作・販売（みつば木工）。2014年度鴨江アートセンター AIR 事業参加。以来、市内各所にて主に子ども向けの木工の会を不定期にひらく。